

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物及び会計ソフトは定額法、器具備品は定率法による減価償却を実施している。

#### (2) 引当金等の計上基準

ア 退職給与引当預金増加額に相当する金額を退職給与引当金として計上している

イ 職員賞与の12月から3月までの金額を賞与引当金として計上している。

ウ 45周年記念事業に要する費用を特定費用準備資金として計上している。

#### (3) 消費税の会計処理

消費税は内税方式を採用している。

### 2 特定資産の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給与引当預金	959,000	100,000		1,059,000
会館建替積立預金	11,800,000	200,000		12,000,000
生涯教育金	2,000,000			2,000,000
45周年記念事業積立預金	0	900,000		900,000
合計	14,759,000	1,200,000		15,959,000

### 3 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
退職給与引当預金	1,059,000			1,059,000
会館建替積立預金	12,000,000		12,000,000	
生涯教育金	2,000,000		2,000,000	
45周年記念事業積立預金	900,000			900,000
合計	15,959,000		14,000,000	1,959,000

### 4 固定資産の取得価額、減価償却額等は、別紙のとおりである。